

研修4 評価の方法についての理解を深める

○研修のねらい

「研修4」では、「中教審答申にみられる小学校外国語教育の評価について」等を確認し、評価の方法と具体例について学びます。また、研修時点での評価の最新情報を共有します。

中教審答申にみられる小学校外国語教育の評価について

文部科学省による評価に関する具体的な指針は、平成29年12月現在検討中であり、その詳細については現在決まっておりません。

なお、平成30・31年度の移行期間における学習評価については、平成29年度中に通知される予定です。ここでは、平成28年12月21日、中央教育審議会答申における小学校外国語教育の評価について共通理解を図ります。

- 観点別評価については、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理する。これらの観点については、毎回の授業で全てを見取るのではなく、単元や題材を通じたまとまりの中で学習・指導内容と評価の場面を適切に組み立てていくことが重要である。
- 学習評価の工夫改善に関する参考資料についても、詳細な基準ではなく、資質・能力を基に再整理された学習指導要領を手掛かりに、教員が評価規準を作成し見取っていくために必要な手順を示すものとなることが望ましい。そうした参考資料の中で、各教科等における学びの過程と評価の場面との関係性も明確にできるよう工夫することや、複数の観点を一体的に見取することも考えられること等が示されることが求められる。
- 指導と評価の一体化を図る中で、論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作等といった多様な活動に取り組ませるパフォーマンス評価等を取り入れ、ペーパーテストの結果にとどまらない、多面的・多角的な評価を行っていくことが必要である。
- 「主体的に学習に取り組む態度」については、子供たちが自ら学習の目標をもち、進め方を見直しながら学習を進め、その過程を評価して新たな学習につなげるといった、学習に関する自己調整を行いながら、粘り強く知識・技能を獲得したり思考・判断・表現しようとしていたりしているかどうかという、意思的な側面を捉えて評価することが求められる。

移行期間における小学校外国語教育の評価について

評価については、今後、国における具体的な検討を受けて、学習指導要領に追記・修正される予定です。

平成30・31年度の移行期間における評価については、「小学校及び中学校の学習指導要領等に関する移行措置並びに移行期間中における学習指導等について（通知）」（文部科学省 平成29年7月）の「5 移行期間中における学習評価の取扱い」に定められています。学習評価の在り方については、第3・4学年、第5・6学年ともに、移行期間に追加して指導する部分を含め、現行小学校学習指導要領の下の評価規準等に基づき、学習評価を行うこととなります。なお、次の2点について共通理解を図ります。

- ・外国語活動の学習に関する所見は文章で記述すること。
- ・数値による評価は行わないこと、また評定も行わないものとする。

評価の方法と具体例

○単元指導計画における評価例

学年：6	単元名：“Let’s go to Italy.” Hi, friends! 2		
目標：・自分の思いがはっきり伝わるように、おすすめの国について発表したり、友達の発表を積極的に聞いたりしようとする。 ・行きたい国について聞いたり言ったりする表現に慣れ親しむ。 ・世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付く。			
準備物：・絵カード（国旗、建物、食べ物等）			
時	○学習内容 ・児童の活動	●指導上の留意点 ☆評価（方法）	◇準備物
第1時	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 ○世界にはいろいろな国があることを知る。 ・いろいろな国の国旗・名所等について発表する。 ・キーワードゲームをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●発音の難しい国名は繰り返し音声を開かせて発音させる。 ☆世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付いている。（行動観察・振り返りカード点検） ☆国名を聞いたり言ったりしている。（行動観察） 	◇絵カード
第2時	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな国の有名なものを英語で紹介すること。 ・国旗クイズをする。 ・ステレオゲームをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆国名を聞いたり言ったりしている。（行動観察・振り返りカード点検） 	◇絵カード

研修4 評価の方法についての理解を深める

○事前に準備する物

- ・ Hi, friends! 1
- ・ 研修4「解説編」(P 30、31) ・ 演習シート (P 86、87)

○研修の留意点

- ・ 文部科学省等から出される「評価」に関する最新の情報を提供するようにすること。

○研修例 (45分)

時間	研修項目	研修内容	使用する物
15分	○外国語活動・外国語科の評価について理解すること。	○ウォームアップを行う。 ○研修のねらいを伝える。 ○P 30「中教審答申にみられる小学校外国語教育の評価について」、P 31「移行期間における小学校外国語教育の評価について」を読み、現時点での評価の考え方を確認する。	・ 本書 P 30、31 ・ 研修時点での評価に関する文部科学省、東京都教育委員会、各区市町村教育委員会からの通知文等
20分	○単元指導計画例を基に評価の内容と方法を考えること。	○P 31「評価の方法と具体例」とP 86「演習シート例」を参考に、評価計画を立てることを説明する。 ○グループごとに評価計画を作成する。 【活動例】 ・ 学年等のグループごとに、評価計画を考える。	・ Hi, friends! 1 ・ 本書 P 31 ・ 演習シート P 86、87
10分	○作成した評価計画を紹介すること。 ○研修を振り返ること。	○グループごとに、作成した評価計画を紹介する。 ○本研修で学んだことについて、情報交換する。	

○研修例（15分）

時間	研修項目	研修内容	使用する物
15分	○外国語活動・外国語科の評価について理解すること。	<p>○研修のねらいを伝える。</p> <p>○P30「中教審答申にみられる小学校外国語教育の評価について」、P31「移行期間における小学校外国語教育の評価について」を読み、現時点での評価の考え方を確認する。</p> <p>○研修時点での評価に関する最新情報があれば提供する。</p>	<p>・本書P30、31</p> <p>・研修時点での評価に関する文部科学省、東京都教育委員会、各区市町村教育委員会からの通知文等</p>

「中学校英語・パフォーマンステスト」

コラム

東京都教育委員会では、「東京方式少人数・習熟度別指導ガイドライン」で示している具体的な目標を達成するために、学年ごとに実施できる「中学校英語・パフォーマンステスト」（主に話すことを評価するテスト）を作成し、現在、都内の公立中学校で活用の促進を図っています。

（学年ごとのパフォーマンステストのテーマ）

中学校第1学年 自己紹介

中学校第2学年 電話でのやりとり
東京の見どころ紹介

中学校第3学年 日本文化紹介